

令和4年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人ヒラタ学園大阪航空専門学校では、平成27年度から教育活動について、実施状況を総合的かつ客観的に把握することにより、問題点を明らかにするとともに、PLAN、DO、CHECK、ACTIONというサイクルを実効的なものとするため、本年度も「学校自己評価」を実施いたしました。

また、自ら行った「学校自己評価」について、学生の業界団体、企業関係者、学生関係者及び学内関係者から成る「学校関係者評価委員会」（令和5年8月28日）において評価を実施いたしました。

本委員会では、貴重なご意見やご指導をいただき感謝申し上げますとともに、学校関係者評価につきましては、今後の学校運営の改善、教育の質の向上等に反映させ、教育活動の充実・強化に取り組んで参ります。

令和5年8月28日

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校

校長・学校関係者評価委員長

飛弾 清彦

学校関係者による評価について

1. 学校関係者評価委員

委員氏名	所 属	備 考
久野 嘉一	日本航空技術協会 総務部長	業界団体 関係者
桑原 利朗	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン（株） 総務人事部 主席	業界企業 関係者
小倉 保徳	美采屋 総括マネージャー（学生食堂）	学生関係者
堤 俊親	（株）Kグランドサービス 総務部長	業界企業 関係者
駒場 辰徳	スカイマーク（株）神戸空港支店 支店長	業界企業 関係者

2. 学内評価委員

飛弾 清彦 （委員長）	大阪航空専門学校長	学内関係者
真田 佳典	学校法人ヒラタ学園 総務課長	学内関係者
今村 和江	学校法人ヒラタ学園 キャリアサポート課長	学内関係者

3. 実施要領

学校関係者評価委員会は、「学校自己評価報告書」に対する再評価をお願いするものである旨をお知らせするとともに、事前に学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価報告書」を送付したうえで、開催することにいたしました。

4. 評価結果の公表

学校関係者評価委員会でいただいた評価は、「学校関係者評価報告書」として取りまとめ、今後の学校運営の改善、教育活動の向上に活かすとともに、インターネット・ホームページ等で公表します。

5. 評価項目毎の学校関係者評価

評価項目に対する学校関係者の評価、ご意見等について報告します。

評価は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切として記載します。

5.1 教育理念・目標 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ 教育理念・目標の自己評価について評価委員からの異議はありませんでした。

○ その他に関しては、特に意見等はありません。

5.2 学校運営 評価 4.0 (適切)

○ 令和4年度の中で、ハラスメントもしくはコンプライアンスに係るような事案が発生したかどうかを教えてください。

- ・ パワハラ的なものを感じられるという相談はありましたが、それ程きつくは思っていないので、今度、同様のことがあれば再度連絡させていただきます。という程度のもので、フォローは続けています。

○ その他に関しては、特に意見等はありません。

5.3 教育活動 評価 3.9 (ほぼ適切)

○ ⑫の「関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか」及び⑬の「職員の能力開発の為の研修は行われているか」が評価「3」となっているのはどうしてなのか。

- ・ まん延防止等重点措置が解除になりましたが、コロナ禍の影響があり、対面での教員研修等が十分実施できませんでした。そのような中、8月に大阪司法書士会から講師を招き、法律講座（SNS 及びハラスメント）という内容の研修を対面で実施しました。しかし、十分に実施できたとは言えませんので、評価「3」としました。

○ 6月に航空整備士学科の教員が製作した手作り教材（トレーナー）が日本航空技術協会の会長賞を受賞しました。

○ その他に関しては、特に意見等ありません。

5.4 学修成果 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ ③の「退学率の低減が図られているか」は評価「3」となっているのは、どうしてですか。これは、5.5 学生支援②の「学生相談に関する体制は整備されているか」に関連するのではないですか。退学率の低減は重要な施策なので、評価「4」になるように尽力してください。

- ・退学の理由として、メンタルヘルスと言うのが多くなってきているので、メンタル面の相談に対応できるように教員を対象としたメンタルヘルスの研修を行うとか、専門家に相談できる環境を整えていく必要があるということで、評価「3」としました。

○ その他に関しては、特に意見等ありません。

5.5 学生支援 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ ②の「学生相談に関する体制は整備されているか」は、評価「3」になっていますが、これは上記のとおりですので、評価「4」になるように尽力してください。

○ 企業の方では、ジェンダーフリーへの対応というのが出てきていますが、そういう取り組みは始められていますか。

- ・今のところ、取り組んでいることはありませんが、その辺のことも認識を持たなければいけないと思っています。

○ その他に関しては、特に意見等ありません。

5.6 教育環境 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ ④の「防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか」については、コロナ禍の影響があり、実働による消防訓練及び防災訓練が実施できていないので、従来通り学生が参加できる訓練を工夫して実施していく必要があります。そのため、評価「3」としています。

○ その他に関しては、特に意見等ありません。

5.7 学生の受け入れ募集 評価 3.7 (ほぼ適切)

○ ①の「学生募集活動は、適正に行われているか」は、評価「3」となっているのはなぜですか？

- ・学生募集は、コロナ禍後の社会、大学全入という教育市場の減少及び航空業界の不況の影響を受け、かなり厳しい状態が続いており入学生数が減少してきています。このため、十分な成果が上げられなかったことから、評価「3」にしています。
このため、インターネット利用による SNS 等の媒体を活用した新たな学生募集のやり方に重点をおいていく必要があります。

- ・7月と8月に全国工業高校校長会が主催する夏季講習に参加し、「先生方に航空業界を知ってもらおう」という目的で「伊丹空港では航空整備士、関西空港ではグランドハンドリング」の講習会を実施しました。

○ その他に関しては、特にありません。

5.8 財務 評価 4.0 (適切)

○ 特に意見等ありません。

5.9 法令等の遵守 評価 4.0 (適切)

- 「学校自己評価」及び「学校関係者評価」は、ホームページ上に公開しています。
- その他に関しては、特に意見ありません。

5.10 社会貢献・地域貢献 評価 3.7 (ほぼ適切)

- ③の「地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか」は、評価「3」となっているのはどうしてですか。
- ①の「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」の評価が「3」になっていますが、イオンモール泉南での「キッズ本格お仕事体験」のイベントに学校全体として積極的に参加しており、評価「4」でいいのではないですか。

・コロナ禍の影響が残っており、積極的には実施できなかったため、評価「3」としました。

・10月にイオンモールりんくう泉南にて「キッズ本格お仕事体験」のイベントに参加し、「パイロット学科：シミュレーター体験、航空整備士学科：計器類の修理、エアライン学科：スカーフ装着と機内サービス、エアポート学科：マーシャラー模擬体験」などのお子様向け体験授業を実施しました。

・委員皆さまの賛同が得られましたので、評価「4」に変えさせていただきます。

- その他に関しては、特に意見等ありません。

6. 総括意見

新型コロナウイルス感染症の拡大により航空業界は大打撃を受けたが、昨年度末に全ての都道府県でまん延防止等重点措置が解除されて以降は、ウィズ・コロナの段階に入ってきており、国としても経済活動と感染防止の両立を図っていくとの方針を示していることから、航空業界は急速に回復に向かっている。

現に、旅客機の国内線運航はほぼコロナ禍前に回復してきており、国際線の旅客便は中国便の回復が遅れているものの、貨物便の運航は活発であり急速な回復が見られる。

このため、航空業界等からの求人は活発になってきており、ほぼコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、世間一般では「航空業界は不況」との影響が残ったままで、入学生の減少という学生募集に顕著な影響が出ている。

このことから「航空業界は回復に向かっている、求人はコロナ禍前の状態に戻りつつあること」、そして「航空業界の仕事は魅力があること」を各種媒体を使って声高に訴え、航空業界を目指す若者の確保に努めていかなければならない。

また、コロナ禍後の社会、大学全入、少子化による教育市場の縮小という時代に向かっていくことから、学校として勝ち残っていくための進むべき方向を五ヶ年計画として確立したので、これに基づき学生募集の強化及び教育要領の改善に努めていく必要がある。

なお、新型コロナウイルス感染症については5類に移行するとはいえ、まだ収束の状況は見られないことから各個人による感染防止対策の徹底を指導していく必要がある。

以上